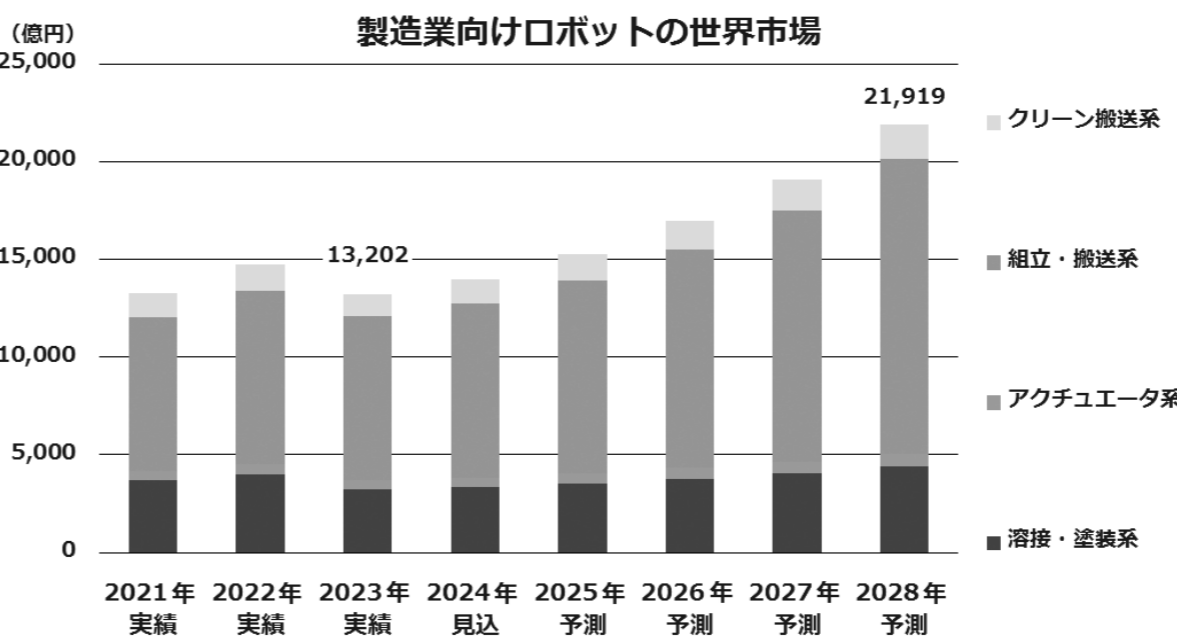


富士経済、世界市場調査

製造業向けロボット需要好調

28年に2兆円突破

協働ロボット市場も240億円に



富士経済「2024年版 ワールドワイドロボット関連市場の現状と将来展望 F Aロボット編」

近年の製造業向けロボット市場は、スマホや半導体、自動車関連の需要増加によって拡大し、2024年には1兆919億円で拡大する予測が示された。2028年には4年に市場は回復に向かい、2028年まで成長設備投資の抑制によって

近年の製造業向けロボット市場は、スマホや半導体、自動車関連の需要増加によって拡大し、2024年には1兆919億円で拡大する予測が示された。2028年には4年に市場は回復に向かい、2028年まで成長設備投資の抑制によって

近年の製造業向けロボット市場は、スマホや半導体、自動車関連の需要増加によって拡大し、2024年には1兆919億円で拡大する予測が示された。2028年には4年に市場は回復に向かい、2028年まで成長設備投資の抑制によって

オムロン、独・ニューラ・ロボティクス 戦略的パートナーシップ締結

オムロン、ロボティクス & サイバー・テクノロジー・ソリューションズは、ニューラ・ロボティクスと戦略的パートナーシップを締結し、協働ロボットの開発と普及を促進する。ニューラ・ロボティクスは、FA領域に専門知識を有し、ロボットの導入・普及に豊富な経験を持つ。オムロンは、ロボットの開発と製造に長け、世界的なネットワークを有する。両社は、協働ロボットの開発と普及を促進し、製造業の生産性を向上させることを目指す。

EA時評

4月から新年度が始まり各社で入社式が行われた。今年は物価上昇や人手不足、さらには賃上げ促進税制の施行など、様々な要因から賃金を大きく上げたいという声が多く聞かれる。しかし、賃上げが容易に行かないのは、企業にとって大きな課題となっている。賃上げが容易に行かない理由として、物価の上昇が賃上げを上回るペースで進んでいることが挙げられる。また、人手不足が賃上げを迫っているという声も聞かれる。企業は、賃上げを促進しながら、生産性を向上させる必要がある。

世界に並ぶ賃金実現の方策

世界に並ぶ賃金を実現するためには、企業は様々な方策を講じる必要がある。まず、生産性を向上させることが重要である。生産性が向上すれば、企業は賃上げを促進しながら、利益を確保することができる。また、人材育成を行うことも重要である。人材が育成されれば、企業は生産性を向上させることができる。さらに、労務管理を改善することも重要である。労務管理が改善すれば、企業は生産性を向上させることができる。企業は、これらの方策を講じながら、世界に並ぶ賃金を実現する必要がある。

部品流通在庫を可視化

部品流通在庫を可視化するためには、企業は様々な技術を活用する必要がある。まず、IoT技術を活用することが重要である。IoT技術を活用すれば、企業は部品の流通状況をリアルタイムで把握することができる。また、クラウド技術を活用することも重要である。クラウド技術を活用すれば、企業は部品の流通状況をリアルタイムで把握することができる。さらに、AI技術を活用することも重要である。AI技術を活用すれば、企業は部品の流通状況をリアルタイムで把握することができる。企業は、これらの技術を活用しながら、部品流通在庫を可視化する必要がある。

4月から新年度が始まり各社で入社式が行われた。今年は物価上昇や人手不足、さらには賃上げ促進税制の施行など、様々な要因から賃金を大きく上げたいという声が多く聞かれる。しかし、賃上げが容易に行かないのは、企業にとって大きな課題となっている。賃上げが容易に行かない理由として、物価の上昇が賃上げを上回るペースで進んでいることが挙げられる。また、人手不足が賃上げを迫っているという声も聞かれる。企業は、賃上げを促進しながら、生産性を向上させる必要がある。

4月から新年度が始まり各社で入社式が行われた。今年は物価上昇や人手不足、さらには賃上げ促進税制の施行など、様々な要因から賃金を大きく上げたいという声が多く聞かれる。しかし、賃上げが容易に行かないのは、企業にとって大きな課題となっている。賃上げが容易に行かない理由として、物価の上昇が賃上げを上回るペースで進んでいることが挙げられる。また、人手不足が賃上げを迫っているという声も聞かれる。企業は、賃上げを促進しながら、生産性を向上させる必要がある。

4月から新年度が始まり各社で入社式が行われた。今年は物価上昇や人手不足、さらには賃上げ促進税制の施行など、様々な要因から賃金を大きく上げたいという声が多く聞かれる。しかし、賃上げが容易に行かないのは、企業にとって大きな課題となっている。賃上げが容易に行かない理由として、物価の上昇が賃上げを上回るペースで進んでいることが挙げられる。また、人手不足が賃上げを迫っているという声も聞かれる。企業は、賃上げを促進しながら、生産性を向上させる必要がある。

4月から新年度が始まり各社で入社式が行われた。今年は物価上昇や人手不足、さらには賃上げ促進税制の施行など、様々な要因から賃金を大きく上げたいという声が多く聞かれる。しかし、賃上げが容易に行かないのは、企業にとって大きな課題となっている。賃上げが容易に行かない理由として、物価の上昇が賃上げを上回るペースで進んでいることが挙げられる。また、人手不足が賃上げを迫っているという声も聞かれる。企業は、賃上げを促進しながら、生産性を向上させる必要がある。

4月から新年度が始まり各社で入社式が行われた。今年は物価上昇や人手不足、さらには賃上げ促進税制の施行など、様々な要因から賃金を大きく上げたいという声が多く聞かれる。しかし、賃上げが容易に行かないのは、企業にとって大きな課題となっている。賃上げが容易に行かない理由として、物価の上昇が賃上げを上回るペースで進んでいることが挙げられる。また、人手不足が賃上げを迫っているという声も聞かれる。企業は、賃上げを促進しながら、生産性を向上させる必要がある。

azbil
あすみる、アズビル。
オートメーションで未来を描く
アズビル株式会社

日本の潜在能力が開花する時が来た 不透明な時代で生きる日本の安定感

灯台

「街がきれい」「食べ物おいしい」「治安が良い」など海外からの旅行者が日本を称賛する声が増えています。これは、日本の安定感と潜在能力が開花していることを示しています。日本は、高度な技術力と豊富な人材を擁している国です。また、安定した社会環境と高い生活水準を維持しています。これにより、日本は世界中から多くの観光客と投資家を呼び込んでいます。日本は、この潜在能力を開花させ、さらなる成長を遂げる必要があります。

Electronics Solutions Company
KANADEN
株式会社 カナデン

センサレスで回転系速度監視による安全回路を実現!

PSR-MM35は、センサレスで速度を監視します。EN 61800-5-2に準拠した安全機能である、STO (安全トルクオフ)、SLS (安全制限速度)、SSM (安全速度監視)、SSR (安全速度範囲) を提供し、PL e/SIL 3まで対応可能です。また、わずか12.5mm幅のコンパクトなデザインで省スペース化にも貢献します。

製品情報はウェブサイトへ

PSR-MM25 センサレス 停止検知用
PSR-MM30 エンコーダ 近接スイッチ接続 オーバースピード/停止検知用

電気設計から製造までデータがつながる

Efficient Engineering is when a PLAN becomes EPLAN.

制御盤製造の最適化ソリューション

https://www.rittal.com/jp-ja/ e-mail: contact@rittal.co.jp

リタール株式会社

Empowering the All Electric Society

PHOENIX CONTACT フォenixコンタクト株式会社

www.phoenixcontact.co.jp

Fukunishi

福西電機株式会社

本社 大阪市北区与力町7番5号

コーポレートサイト https://www.fukunishi.com

Empower Connections

つながりに力を

令和の販売員心得

黒川 想介

同じであるため戦略も似てくる。各販売店が平成年間やこれからの販売戦略を顧客の深掘りによる売り上げ拡大で、この戦略の刷新や販売戦略レベルの行動は新しく発売される新商品の紹介販売の置き換え、競合商品の置き換え

「F A販売店はF A機器や部品を扱い、F AメーカーとF A機器部品ユーザーの間で売上の仲介者としての役割を担っている。長年というものの通り、販売戦略を刷新して行動しているが、F Aメーカーが、案件を逃さず取り込むためのテクニカルサポートの向上、そして前述の活動から発生する商談テーマの推進活動である。以上が、令和のF A販売店に求められる戦略である。令和のF A市場は高度成長を遂げ、安定期に入っている。F Aのマーケットは、競争が激しくなっている。F A販売店が販売戦略を刷新し、顧客のニーズに合わせた販売戦略を構築し、競争優位性を確立することが求められる。F A販売店が販売戦略を刷新し、顧客のニーズに合わせた販売戦略を構築し、競争優位性を確立することが求められる。

機能 大幅に強化

横河電機 統合生産制御システム

横河電機は、統合生産制御システム「CENTUM VP」の機能を大幅に強化し、「CENTUM VP R6.11.10」を5月31日より発売する。世界で最も普及している産業用ネットワークの一つであるEthernet/IPに、PROFINETの機能を追加し、断続的に動作する機器を制御するための高信頼性・高稼働率を実現する。PROFINETの機能を追加し、断続的に動作する機器を制御するための高信頼性・高稼働率を実現する。

再エネ利用拡大

太陽光発電電量管理に最適

大崎電気工業は、直流の電力量を計量・特定計量制度に基づき届け出を行うことで、電力の取引に使用できる電力量計「A9AA-RN11」(0.450V・1.25A)を発売した。太陽光や風力などによって発電した電力は、直流から交流に変換して供給され、必要に応じて再び直流に変換して利用されているが、変換時に電力量にロスが生じるため、電力量の正確な計量が必要となる。A9AA-RN11は、直流の電力量を高精度で計量し、電力会社との取引に使用できる電力量計として、太陽光発電や風力発電の電力量管理に最適である。

無線LANアクセスポイント

Wi-Fi 6E準拠

コンテックは、無線LANアクセスポイント「FLEXLAN A6000」を発売した。Wi-Fi 6E準拠の無線LANアクセスポイント「FLEXLAN A6000」を発売した。Wi-Fi 6E準拠の無線LANアクセスポイント「FLEXLAN A6000」を発売した。Wi-Fi 6E準拠の無線LANアクセスポイント「FLEXLAN A6000」を発売した。

丸穴加工で簡単設置

端子台付中継ボックス

東洋技研は、端子台付中継ボックス「BOX-Rシリーズ」を発売した。丸穴加工で簡単設置できる端子台付中継ボックス「BOX-Rシリーズ」を発売した。丸穴加工で簡単設置できる端子台付中継ボックス「BOX-Rシリーズ」を発売した。

観察し合う商材を見い出す

分化、統合するマーケット

「他業界と比べてもかなりの良いマーケットである。それなら何も戦略を変えずに、そのままの商材で勝負する。あるいは、他業界の商材を、自分の商材と見比べて、観察し合う商材を見い出す。観察し合う商材を見い出す。観察し合う商材を見い出す。

北陽電機は、測域センサ

北陽電機は、測域センサ「測域センサ」を発売した。測域センサ「測域センサ」を発売した。測域センサ「測域センサ」を発売した。

小型防水コネクタ

ヒロセ電機は、小型防水コネクタ「H22Kシリーズ」を発売した。小型防水コネクタ「H22Kシリーズ」を発売した。小型防水コネクタ「H22Kシリーズ」を発売した。

端子台付中継ボックス

東洋技研は、端子台付中継ボックス「BOX-Rシリーズ」を発売した。端子台付中継ボックス「BOX-Rシリーズ」を発売した。端子台付中継ボックス「BOX-Rシリーズ」を発売した。

無線LANアクセスポイント

コンテックは、無線LANアクセスポイント「FLEXLAN A6000」を発売した。無線LANアクセスポイント「FLEXLAN A6000」を発売した。無線LANアクセスポイント「FLEXLAN A6000」を発売した。

電気接触は、WashiON 共立継器におまかせください。

商品ラインナップを強化し、お客様のニーズに応えます。お客様の「希望納期」にて対応します!!

<p>電源切替用開閉器 SSKシリーズ</p> <p>標準型・OFF位置付・オーバーラップ型・高速動作型・手動操作型</p> <p>●高速動作 HTS TYPE</p> <p>●瞬時動磁機保持型 E TYPE</p> <p>●手動操作型 MO TYPE</p>	<p>高圧真空電源切替器</p> <p>●VSKシリーズ</p>		
<p>直流電磁接触器</p> <p>●KMDシリーズ</p>	<p>直流手動開閉器</p> <p>●BMSシリーズ</p>	<p>重負荷用電磁接触器</p> <p>●WCDシリーズ</p>	<p>高圧端子台</p> <p>●SNTシリーズ</p>

WashiON 共立継器株式会社

SSKシリーズ電源切替用開閉器・直流電磁接触器・補助継電器・端子台・オートメーションパーツ

本社 長野県諏訪郡下諏訪町4684-1 〒393-0087 ☎(0266)27-8910(代) FAX.(0266)27-7628

東京営業所 ☎(03)3834-9722(代) 名古屋営業所 ☎(0568)82-4271(代) 鳥取営業所 ☎(0942)83-0564(代)

大阪営業所 ☎(06)6353-0221(代) 仙台営業所 ☎(022)773-5861(代) 千曲工場 ☎(026)276-5000(代)

http://www.washion.co.jp

MADE in MARKET

現地で開発。現地で製造。

EASYTEC MECHATRONICS (WUXI) CO., LTD.

OTAX SHANGHAI LIMITED

OTAX KOREA CO., LTD.

OTAX CO., LTD.

OTAX ELECTRONICS (SHENZHEN) CO., LTD.

AUTOSYS INTELLIGENT EQUIPMENT CO., LTD.

OTAX SEIKI (GUANGDONG) CO., LTD.

OTAX HONG KONG LIMITED

OTAX ELECTRONICS (THAILAND) CO., LTD.

OTAX MALAYSIA SDN.BHD.

DIPスイッチ

スライド

ピアノ

ロータリ

操作スイッチ

トグル

ロッカー

押ボタン

金属加工関連

アルミニウム加工

MIM・精密ネジ

コネクター

各種コネクター

テストソケット

ヘルスケア

医療機器

ウェアラブル

端子台

FA用

エアコン用

otax オータックス株式会社

TEL : 045-543-5621

H P : www.otax.co.jp

本社 : 〒223-8558 神奈川県横浜市港北区新町1215



不可能を、可能にーそれが、SICKのセンサインテリジェンス。

SICK
Sensor Intelligence.

本社：東京都中央区本町1-32-2ハーモニータワー13F TEL: 03-5309-2115
URL <https://www.sick.com/jp> e-mail support@sick.jp

Electronics Solutions Company

KANADEN

株式会社カナデン



この技術が、世界を変える。
この技術で、未来を変える。
change the world. for the future.

HOKUYO

<https://www.hokuyo-aut.co.jp/>

FA業界掲示板

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→<https://www.automation-news.jp/category/topics/>

■三菱電機、FA eラーニングに「はじめての電気回路」コースを開発

三菱電機は、WEBで三菱電機FA機器利用のトレーニングができ、全コースが無料で受講できる学習型オンライン教育システム「FA eラーニング」について、はじめてFA機器を使う人向けに基礎の基礎を教える「はじめてのFA機器」コースに、電気の基礎を教える「はじめての電気回路」コースを公開した。

■三菱電機、Youtubeで「リチウムイオン電池向け製造ソリューション」公開

三菱電機は、Youtubeにリチウムイオン電池の製造工程をわかりやすく解説した動画「リチウムイオン電池向け製造ソリューション」を公開した。動画は10分59秒で、攪拌や塗布、ロール、スリッター、巻回機など各工程とそこで使われる同社製品について紹介している。

■シュナイダーエレクトリック、新製品発売記念で産業用PCなど最大40%引きの特価キャンペーン

シュナイダーエレクトリックは、2024年3月と4月に発売を開始した産業用PCとソフトスターター、リレーの新製品発売を記念して、4月8日から3製品が最大40%値引きで買える特価キャンペーンをスタートした。対象商品は、4月15日発売の産業用パソコンPS6000シリーズベーシックボックス（Atomモデル）、3月25日に発売したソフトスターターATS01シリーズ、ATS480シリーズ、4月15日に発売したHarmonyリレー（電磁/監視/タイマー）日本展開の約300機種。
期間は6月28日まで。

■不二電機工業、安定供給力の強化のため、FVS形ホルテジリレーをリニューアル

不二電機工業は、安定供給力の強化のため、「FVS形ホルテジリレー」をリニューアルし、8月から販売を開始する。

リニューアル対象製品は、ホルテジリレーFVS形「FVS-□□□-100/220」で、機種名ではパーセント設定18ピンタイプのFVS-SU、FVS-SO、FVS-SUB、FVS-SOB、FVS-SDG、14ピンタイプのFVS-D、FVS-U、FVS-UA、FVS-W、FVS-DD、電源設定14ピンタイプのFVS-HDF、FVS-HUF、FVS-HWF、FVS-HWE。

リニューアル品の型式は「FVS-□□□-100/220-



未来のための
イーサネットの

METZ CONNECT

We realize ideas

国内販売輸入総代理店
Rinsconnect 株式会社リンスコネク

A)となり、外形寸法、取付ピッチ、製品特長、取扱手順、アクセサリ類に変更はなく、現行品に対して互換性を有する。

■ワゴジャパン、照明制御ソリューション「WAGO Lighting Management」紹介ページ公開

ワゴジャパンは、パッケージ型照明制御ソリューション「WAGO Lighting Management」を紹介する特設ページを公開した。

WAGO Lighting Managementは、生産現場や倉庫など大規模から小規模まで、幅広い規模の施設に対応し、DALI照明器具、センサ、スイッチなどあらかじめ定義されたハードウェアと、あらかじめプログラムされたアプリケーションソフトを組み合わせ、プログラミングではなくコンフィギュレーションインタフェースを介して照明制御ができるパッケージ型照明ソリューション。計画と試運転、運用を簡素化して最適な照明制御を実現できる。

■オブテックス・エフエー、「現場川柳ナイト」イベントレポートを公開。ダイジェスト動画も

オブテックス・エフエーは、毎年実施している現場川柳について、第10回目を記念して2月22日東京都リサーチパークで行われた記念イベント「現場川柳ナイト」のイベントレポートを公開した。

見ル野栄司氏をはじめ4人の漫画家をゲストに迎え、現場川柳の三大構成要素である「川柳」「漫画」「ものづくり」について、今回は「漫画」に焦点をあて、現場川柳を軸としてものづくりトークやライブイベントを行った。イベントでは急ぎょセンサや次世代工場もテーマに加わり、お客さんも巻き込みながら楽しいトークを繰り広げ、間近で漫画を描く姿を見ることもできる貴重なイベントとなったとしている。

■北陽電機、「まんがで分かる制御機器」第20話「番外編 波乱の幕引き」を公開

北陽電機は、制御機器の知識について、マンガを織り込みながら学んでいくコンテンツ「まんがで分かる制御機器」について、シーズン2測域センサエリア設定タイプ編 第20話「番外編 波乱の幕引き」を公開した。

第20話はシーズン2の最終回として、AGVの内製化に成功したマナブくんやツヨシくん、レイコさんで打ち上げの番外編となっている。次回からシーズン3が始まる予定となっている。

■サンミュージック、日テレ共創ラボ、TASKOと共創で「PIXTERIOR」開発

サンミュージックは、日テレ共創ラボとTASKOと共創し、リビングメディアデバイス「PIXTERIOR」のプロトタイプを開発した。

PIXTERIORは、未来のリビングライフに向けた新概念に、サンミュージックのKA形照光式押しボタンスイッチを使用し、イスの表面にスイッチをグリッド状に配列して、スイッチそのものを情報表示装置とした新たな座れるメディアデバイス。2024年3月に

アメリカで行われたSXSW2024をはじめ、国内外のさまざまな展示会で展示する予定。

■リタール、ブログ記事公開「製造業のグローバルスタンダード標準化への取り組み」

リタールは、ブログ記事「製造業のグローバルスタンダード標準化への取り組み」を公開した。記事では、国際的な競争力を出すために注目されているグローバルスタンダードに対する取り組みを取り上げ、グローバルスタンダードの重要性や、製造業の標準化への取り組みについて、ISO9001取得を例に詳しく解説している。

■内外電機、7月1日注文分から価格改定

内外電機は、2024年7月1日注文分から価格改定を行う。対象製品と改定率は、標準分電盤で約3~15%、制御盤で約2~35%、警報盤で約2~6%、キャビネットが約3~15%、プラスチックボックスで約10~15%、パーツ製品が約3~15%の値上げとなっている。

また一部機種ではモデルチェンジ、販売終了となり、対象製品はWEBページに掲載されている。

■カナデン、「カナデン補助金検索システム」を公開

カナデンは、国や地方自治体の補助金交付情報を探索する補助金検索システム「カナデン補助金検索システム」を公開した。日本最大級の補助金・助成金のデータベースを活用し国と地方自治体交付情報について「都道府県」や「活用目的」などで詳細検索が可能となっている。

そのほか補助金活用支援として、補助金対象の製品一覧や補助金ヘルプデスクなども提供している。

■IMV、宇都宮営業所を開設

IMVは、4月1日に栃木県宇都宮市に宇都宮営業所を開設した。住所は〒321-0953栃木県宇都宮市東宿郷4-2-24 センターズ・ビルディング6階、電話番号は050-1750-6650

■カナデン、愛媛県松山市に四国営業所を開設

カナデンは、愛媛県松山市に四国営業所を開設した。住所は〒790-0011愛媛県松山市千舟町4-3-7青野ビル1F。電話番号は089-942-1278

■サンワテクノス、関東支社の再編、九州支社の開設など組織変更

サンワテクノスは、4月1日付で組織変更を行った。関東支社を南関東支社と北関東支社に再編し、南関東支社は東京営業部を廃止して新たに設置した機電営業部・電子営業部、横浜支店を管轄し、北関東支社は北関東支社と東京西支店を管轄する。関東支社営業管理部は関東営業管理部に名称を変更し営業本部の直轄とした。

また営業本部に九州支社を設置し、福岡支店北九州営業所を北九州支店に昇格。九州支店は福岡支店と北九州支店を管轄する。北九州支店は北九州支店と広島営業所を管轄する。

このほか、サステナビリティ推進部を再編し、サステナビリティ推進部環境推進グループは法務部へ、サステナビリティ推進部社会・統治グループは経営管理部へ組織異動。法務部を法務・コンプライアンス部に名称変更した。ライフ・ファシリティ推進部も再編し、ライフ・ファシリティ推進部ライフ課は総務部へ、ライフ・ファシリティ推進部ファシリティ課は営業本部機電部門へ組織異動した。営業支援担当を営業支援推進部に名称変更した。

■山善、兵庫県神戸市の兵庫住建支店を移転

山善は、兵庫県神戸市の兵庫住建支店を移転した。新住所は〒650-0025兵庫県神戸市中央区相生町1-2-1 東成ビルディング7階（神戸市店と同事務所）。電話番号は06-6563-9150、FAXは06-6537-7805

■ナプテスコ、米国マサチューセッツ州にイノベーション・オフィス開設

ナプテスコは、5月1日に米国マサチューセッツ州ケンブリッジにイノベーション・オフィスを開設する。

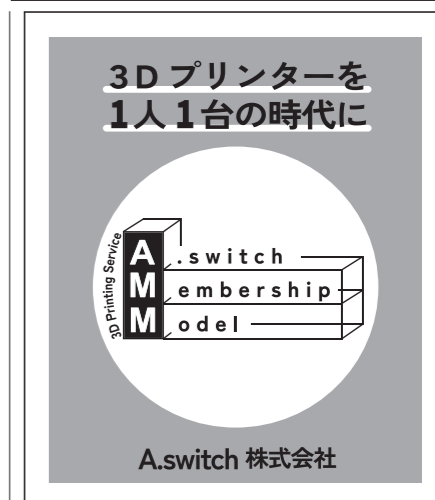
同地には、ハーバード大学やマサチューセッツ工科大学（MIT）など世界トップクラスの大学に加え、優れた研究機関やスタートアップ企業が集積している。現地のイノベーションエコシステムの一員に加わることで、最先端の技術情報やビジネスモデルを探索し、現地企業や大学、研究機関等との協業・共同研究等を推進していく。

セミナー・イベント情報

■EPLAN、操作体験会、5月・7月に横浜と大阪、6月に名古屋で開催

EPLANは、総合電気設計CAD「EPLAN」を実際に操作体験できる「EPLAN体感セミナー」をリアルイベントとして横浜と大阪、名古屋で開催する（参加無料）。

5月9日と7月9日はEPLAN新横浜オフィスで、5月16日と7月16日はEPLAN大阪オフィス、6月7日はEPLAN名古屋オフィスで開催。セミナーは午前の部と午後の部に分かれ、午前の部ではEPLANの概要説明、午後の部では実機を実際に操作しての体験ができ、どちらか片方だけでも参加可能となっている。



工場をいろんな無線でつなぎます

ADVANTECH

Enabling an Intelligent Planet

ECU-1051(LTE/Wi-Fi)
ECU-150(LTE/Wi-Fi)
ECU-1252(LTE/Wi-Fi/CAN)
エッジゲートウェイ



ARM A8 **ARM A53x4** **ARM A8**

WISE-4220(Wi-Fi 2.4G)
WISE-4210(SUB-G)
WISE-4471(NB-IoT/LTE-M)

WISE-2210(SUB-G)
WISE-2211(SUB-G)
WISE-2200-M(LoRaWAN)
CT給電対応/アナログ入力

WISE-4610 (LoRaWAN)
WISE-4671 (NB-IoT/LTE-M)

WISE-40XX (Wi-Fi 2.4G)

WISE-S100
タワーライトセンサ後付け

WISE-2410(LoRaWAN)
WISE-2410X(LoRaWAN)
振動センサ電池駆動型

いろいろ選択可能な入出力を提供

アドバンテック株式会社
<https://www.advantech.com/ja-jp/>



[東京本社] 〒111-0032 東京都台東区浅草6-16-3

TEL : 03-6802-1021 FAX : 03-6802-1022

[大阪支店] TEL : 06-6267-1887 FAX : 06-6267-1886

[名古屋支店] TEL : 052-291-4860 FAX : 052-291-4861

工場新設・増設、設備投資情報

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→<https://www.automation-news.jp/category/factory/>

国内

■デクセリアルズ、栃木県鹿沼市の鹿沼事業所第2工場を拡張

デクセリアルズは、栃木県鹿沼市の鹿沼事業所第2工場を拡張する。2024年2月以降に土地の引き渡しを受け、工事を開始する。

現在、鹿沼第2工場では、主にICチップなどの電子部品を基板に実装し、回路を形成する際に欠かせないフィルム状の接合材料である異方性導電膜（ACF）を製造している。同社のACFは、粒子整列型ACFを中心に、スマートフォンや自動車をはじめとするディスプレイ向けで高い世界シェアを持ち、カメラ・センサーモジュールなどの実装用途でも多く使用されている。

新工場はIoTやビッグデータ、AI、ロボットなどの技術やデータを活用し、エンジニアリングチェーンとサプライチェーンのネットワーク化や最適化を可能にするスマートファクトリー化、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにするゼロエミッションビルを目指すほか、BCPを意識したコージェネレーションシステムも導入することでサステナブルな工場とする。

敷地面積7万1000平方メートル。2024年3月工事着手予定。2026年稼働開始。

■サトウ食品、新潟県蒲原郡の聖籠ファクトリーで「サトウのごはん」生産ライン増設

サトウ食品は、聖籠ファクトリー（新潟県蒲原郡聖籠町）で、2月からバックごはん「サトウのごはん」の新たな製造ラインの稼働を開始した。これにより聖籠ファクトリーの生産ラインを1ラインから2ラインへと増強し、同社のバックごはん製造は合計10ライン体制となる。生産能力は、現在の日産約103万食から123万食に増強され、年間で4億食の生産体制へと拡大する。投資額は約45億円。2023年3月着工、2024年2月生産開始。



■村田製作所、島根県出雲市の出雲村田製作所に積層セラミックコンデンサの新生産棟を建設

村田製作所の生産子会社の出雲村田製作所（島根県出雲市斐川町）は、積層セラミックコンデンサの新生産棟の建設を2024年3月から開始する。

新生産棟は、鉄骨造10階建てで延床面積は6万9676平方メートル。建築面積は1万742平方メートル。2026年3月竣工予定。総投資額は約470億円（建物、生産設備含む）。



Fukunishi

人・技術・情報の

架け橋となり、

最適解で「福」あふれる

未来をつくる。

福西電機株式会社

■サンコール菊池、熊本県菊池市のEV向け配電用部品工場を増設

サンコール菊池は、熊本県菊池市のEV向け配電用部品バスパーを生産する工場を増設する。投資金額は7億円。1月に着工し、11月の稼働開始を見込む。生産能力は年間12万台分の計画。

■アキレス、滋賀第二工場に軟質ポリウレタンフォームの新生産ラインを増設

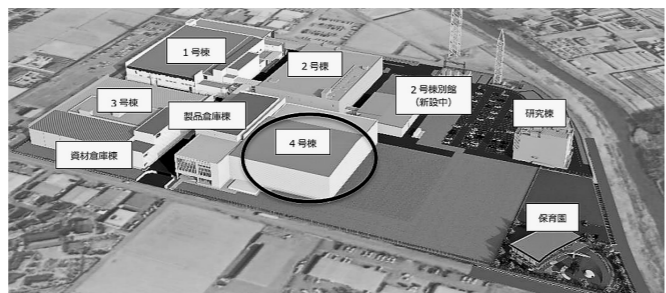
アキレスは、環境負荷低減に配慮した軟質ポリウレタンフォームの新たな生産ラインを、滋賀第二工場に増設した。2月上旬から段階的に製品の生産・販売を開始している。

同社は通気性・反発性・低帯電・難燃性などの機能・特長を付加した軟質ポリウレタンフォームを開発・販売しており、今回増設した滋賀第二工場の新生産ラインは、産業から排出される液化炭酸ガス等を利用してリサイクル液化炭酸ガス等を発泡剤に使用し、地球温暖化に配慮した生産システムを採用している。VOCについても、本ラインの稼働によって滋賀第二工場の軟質ポリウレタンフォーム生産に関わる使用量を削減することができる。

■シード、埼玉県鴻巣市のコンタクトレンズ工場を拡張 生産能力を月産7500万枚に増強

シードは、コンタクトレンズの生産力をさらに増強するため、シード鴻巣研究所（埼玉県鴻巣市）4号棟の建設をはじめ、2026年1月竣工する予定。

鴻巣研究所では、国内外でのコンタクトレンズの需要拡大への対応に向け、2023年度に1号棟の設備更新と3号棟のライン新規増設の実施により、現在の生産能力5300万枚/月を5800万枚/月へ、2024年4月竣工予定の2号棟別館新設により6500万枚まで引き上げる計画。4号棟は、当面不足している生産力の確保に加え、今後の需要動向に合わせ、機動的に追加設備を導入できるキャパシティを確保する形での建設を予定しており、完成後の生産能力は7500万枚/月となる見込み。



総投資予定額131億円予定。2024年8月着工。建築面積は約5300平方メートル、延床面積は約1万6700平方メートル。

■サントリー、大阪工場に55億円を投資し、スピリッツ・リキュールの生産能力を強化

サントリーは、ジャパニーズクラフトジン「ROKU（六）」、ジン「翠（SUJ）」など、ジンカテゴリー創造への取り組みを強化しており、2030年には国内ジン市場を2020年比で6倍



以上・昨年との2倍以上となる450億円規模に拡大させる計画。それに向けて2025年にかけてサントリー大阪工場に55億円の設備投資を実施し、新たに「スピリッツ・リキュール工房」を敷地内に建設し、浸漬タンク・蒸溜釜などを新設することで生産能力を2.6倍に増強する。

■三井化学とマイクロ波化学、マイクロ波を活用した炭素繊維製造技術の実証設備を完工

三井化学とマイクロ波化学は、マイクロ波を活用した環境負荷の低い革新的な炭素繊維（CF）製造に関する実証設備を三井化学名古屋工場内（愛知県名古屋市中区）に完工した。既に2024年1月より試運転を開始しており、両社で量産化技術の確立に向けた検討を進め、2024年度内を目標にCFサンプルの供給開始を目指す。

新技術は、対象を内部から加熱できるマイクロ波の特性を生かし、無駄な加熱を徹底的に排除した革新的なプロセスとなる。従来法と比較して加熱処理時間が大幅に短縮でき、焼成プロセスのラインが短くなり、設備をコンパクトにすることが可能。さらに装置自体の温度が高温にならないため、装置コスト、エネルギー消費、安全面でもメリットが見込まれる。エネルギー消費量を50%削減でき、将来的にはマイクロ波を発生させるための電源を再生可能エネルギーに変更することで90%以上のCO₂排出削減できる見込み。



■ヨロズ、岐阜県安八郡輪之内町の自動車部品の新工場が稼働開始

ヨロズは、2022年11月から建設を進めていた東海地区の新拠点について、1月から生産を開始した。プレス工程の稼働を皮切りに、溶接・組立・塗装工程を順次立ち上げ、現在のヨロズ愛知からの移管により生産を集約する予定。新拠点の土地面積は約7万9700平方メートル、建物面積は約1万8400平方メートル。

■カステラ本家福砂屋、長崎県諫早市に新工場建設

カステラ本家福砂屋は、長崎県諫早市南諫早産業団地に約3.3㊦（約1万坪）の土地を取得し、カステラやオランダケーキ等を製造する新たな工場を設立する。新工場設立は、現在使用している施設からの刷新し、従業員の働きやすさと生産性の向上を目的とし、昔ながらの製法に新しい技術や設備を整え、工場内の効率的な運営を目指す。また、DXも積極的に推進し、製造から製品出荷までの工程を効率化、集約することにより流通プロセスの改革も目指す。

■東京計器、栃木県那須郡那須町に防衛事業の新工場

東京計器は、栃木県那須郡那須町の同社那須工場敷地内に防衛機器を取り扱う工場棟を新たに建設する。2024年12月の竣工を目指して建設費約15億円を投じ、防衛事業における需要の増加や将来の新製品開発に対応する。

同工場は、陸海空の自衛隊が保有する航空機や艦艇向けの搭載機器を多数手掛けており、新工場棟「防衛管理棟」は、目下の増産体制の構築や将来の新製品の開発・生産を取り扱うのに十分なスペースを有し、防衛事業の管理機能も併せ持つ。高断熱仕様とすることで空調効率

の向上により温室効果ガス排出量の削減を図る。環境に配慮した生産活動を通じて、わが国の防衛力の維持・発展に尽力していく。総床面積は、5580平方メートル、2024年12月竣工予定。投資額は、約15億円。



■スター精密、静岡県菊川市の菊川工場リニューアルと牧之原市に新工場を建設

スター精密は、工作機械事業における菊川工場のリニューアルと牧之原市に新工場を建設する。

スイス型CNC自動旋盤の需要が世界的に拡大しており、同社は生産能力を増強し高付加価値製品と最先端モデルの組み立てを行う新工場を国内に建設し月産100台の体制を確立し、地政学的なリスクへの対応力強化を目的とする。また現在の工場棟は建設後35年以上を経過しており、地震等の災害への対応を強化してBCPの向上を進め、ロボットの導入などによる自動化、DXの推進によるスマートファクトリー化を実現し、業務と生産効率の追求に加え、品質の向上やコスト削減を図る。

菊川工場のリニューアルは、同工場の敷地内にコア部品製造の菊川南工場を建設する。建屋は鉄骨3階建てで建築面積は約1万300平方メートル。延床面積は約1万3700平方メートル。総事業費約100億円。2024年7月着工予定。2025年11月稼働開始（予定）。

牧之原工場（仮称）は、最先端モデルの本体組み立てを担い、建屋は鉄骨2階建て、建築面積は約6900平方メートル、延床面積は約9100平方メートル。総事業費は約50億円。2025年5月着工（予定）。2026年7月稼働開始（予定）。

■レシップ電子、岐阜県本巣市の本社工場敷地内にプリント基板実装の新工場を建設

レシップホールディングスの連結子会社レシップ電子は、約11億円を投資し、岐阜県本巣市にプリント基板実装を行う新工場の建設を開始する。新工場は、現在稼働中の本社工場隣地に建設し、2024年3月着工、2024年10月竣工、2025年1月からの稼働を目指す。

新工場では、車載向けを中心とした製品を、部品の受け入れから生産・検査・梱包・出荷まで一貫して製造することができるラインを構築する予定。生産エリアの拡大により、今後は半導体製造装置やロボット向けなどの市場をターゲットに新規顧客を開拓し、売上拡大を目指す。

敷地面積は3万8544平方メートル。建屋は、鉄骨造3階建て、3380平方メートル。

Just in your products
Just Products挑戦する盤メーカーを
サポートする会社コスト、生産性、脱炭素。
それだけにどまらない、
銅バー加工の外注化の
メリットをお伝えします。

株式会社ジャストプロダクツ

UNIX JAPAN UNIX

世界の製造業が採用
IPC 品質標準規格グローバルに通用する製品品質を備え、
世界各地での躍の第一歩に――

ジャパンユニックスでは
IPCの標準規格書・情報・サービスを
提供しています

IPC 標準規格書 無料版 まずはwebからダウンロード

『IPC』『規格』『無料』で 検索

はんだ付工程を
見える化する

卓上型はんだ付ロボット UNIX-DF シリーズ

- 『Soldering Manager』ではんだ付のIoT化へ
ジャパンユニックス独自のはんだ付ロボット管理ソフトウェア・『Soldering Manager』を使用して
モニタリング・稼働ログの保存が可能
- 3D ソルダリングの実現
付加軸2軸を加えた6軸同時制御により
ロボット操作のみで複雑形状の製品へのはんだ付が容易に



ジャパンユニックス製品 導入事例集 webにて公開

『はんだ付 導入事例』で 検索

株式会社 ジャパンユニックス
<http://www.japanunix.com>

本 社 〒107-0052 東京都港区赤坂2-21-25 Tel. 03-3588-0551 Fax. 03-3588-0554

大阪営業所 Tel. 06-6190-4580 Fax. 06-6190-4581 名古屋営業所 Tel. 052-679-2111 Fax. 052-679-2112 テクノセンター Tel. 096-287-4501 Fax. 096-287-4503